

剣道

No. 167
1・2月号

三木市剣道連盟
広報部
2014（平成26）年
3月26日（水）
発行

○26年稽古初め(1面)
 ○級位認定審査会・sc
 21少年剣道大会 平成
 25年稽古納め(2面)
 ○祝8段昇格 (3面)
 ○防具担いで出稽古
 (3・4面)
 ○功労者表彰・月々の

◎本紙は、三木市剣道
 連盟ホームページ
 (www.eonet.ne.jp/~t
 komu/siunkan/index.h
 tm)にも掲載中。PDF
 形式で印刷できま
 す。今後郵送不要の節
 はご連絡ください。

平成26年三木市剣道連盟 稽古初めに約130人が参加

平成26年1月12日(日)於三木市民体育館

1月12日、平成26年最初の連盟行事、恒例の稽古初めが三木市民体育館で行われた。当日は受付開始前に参加する市内各剣道教室の小学生や中学、高校生らが会場の市民体育館に来ており開門を待っている状態であった。



高橋会長の年頭のあいさつ

午前8時半受付を開始し、三木市剣道連盟関係者や一般会員等の参加も得て、定刻9時より稽古会が開始された。参加者は、一般会員等大人が40名、小学生50名、中学生20名、高校生18名合計128名と盛会であった。

稽古に先立ち、準備運動の後整列して、三木剣道連盟高橋会長の挨拶をいいただき、稽古の始まる前に、前年の平成25年11月17日(日)に行われた第27回三木市少年スポーツ大会(剣道の部)兼第34回三木市民剣道大会の日本剣道形の試合(教室対抗)で、優勝の緑が丘スポーツ少年団剣道クラブ、準優勝の別所少年剣道教室、三位の吉川剣道少年団及び三木中央少年剣道教室と特別参加の志染スポーツ少年団剣道

部の各選手による、日本剣道形(太刀の形1〜5本目)の演武が行われ、小学生と思えない位の立派な演武に満場の拍手が送られた。



小学生による日本剣道形の演武

稽古は、三木剣道連盟成人指導部長小椋教士七段の指揮のもと、小・中学生の部と高校生・一般の部に分けて行われ、先ず一般会員等大人や高校生が元立ちとなつて小・中学生が約50分の稽古を実施した。寒い日だったにもかかわらず、大きな声で元気よく稽古して、十分に体が温まったようであった。

その後、高校生と一般の稽古となり、稽古が物足りなかった一部の中学生も含め、熱のこもった激しい稽古が繰り上げられた。



熱のこもった稽古

稽古終了後は整列して、三木剣道連盟神澤正輝副会長の挨拶で締めくくられた。(報告 下瀬 澤生)



相互に礼をする参加者

第103回 三木市剣道連盟 級位認定審査会 報告

第103回三木市剣道連盟の級位認定審査会が、平成25年12月8日に三木コミュニティスポーツセンターにおいて開催されました。午後からはスポーツ21の剣道大会も行われました。

三木市剣道連盟 高橋会長より、開会の挨拶があった後、審査が始まりました。第102回の審査会については、50名の受審者がありましたが、今回の受審者数は激減し、27名となりました。特に、5級の受審者数が2名と今後の不安が拭えませんが、次の開催日は平成26年6月ですので、新入部員が増え受審者が増加することを期待しています。

第103回 級位認定審査会結果 一覧表

	受審者数	合格者数	合格率	審査員
中央	5	5	100.0%	檜皮 先生
緑が丘	4	4	100.0%	西岡 先生
志染	2	2	100.0%	下瀬 先生
口吉川	6	6	100.0%	大西 先生
自由が丘	5	5	100.0%	神澤文 先生
別所	2	2	100.0%	
剣修会	3	3	100.0%	
合計	27	27	100.0%	

	受審者	合格者	合格率
2級	8	8	100.0%
3級	4	4	100.0%
4級	13	13	100.0%
5級	2	2	100.0%
計	27	27	100.0%

待っています。

この昇級審査では、「木刀による剣道基本技稽古法」の講習（2級9本・3級6本迄）も行っておりましたが、兵庫県の1級審査会では、平成26年度より講習から審査に変更されます。従いまして、三木市の審査会におきましても、講習を廃止し、審査に変更します。各教室での指導を強化していただくことをお願いいたします。また、昇級審査後に合同稽古会を行っています。この合同稽古会についても参加者が増加しており、定着化してきています。特に、小学生参加者は毎回60名を超えています。是非、一般、及び、指導者が多数参加していただきますようお願いいたします。

少年指導部 大柴 記

第4回スポーツクラブ 21交流小学生剣道大会 開催される

12月8日(日)、午後から見出しの大会が行われ、市内剣道教室の小学生が日ごろの技を競い合った。

入賞者は次のとおり

- 【2年以下】①河野誠亮（SC志染）②森本隆文（SCみなぎ台）③井上 智暁（SC緑が丘）③魚住 颯汰（SC別所）
- 【3年】①金井秀真（SC志染）②末廣 徹（SC口吉川）③前川 亮輔（SC自由が丘西）③味地 晃明（SCみなぎ台）
- 【4年】①吉見 倭（SC緑が丘）②井上あかり（SC緑が丘）③石田 直史（SC緑が丘）③平井優太郎（SC志染）
- 【5年男】①今福謙太（SC自由が丘西）②橋間祐仁（SCみなぎ台）③中本紫那（SC別所）③森本裕重（SCみなぎ台）
- 【5年女】①末廣美幸（SC口吉川）②中西沙菜（SC志染）③増田萌花（SC緑が丘）
- 【6年】①二杉晃平（SC別所）②林大稀（SC自由が丘西）③森岡祥平（SC緑が丘）③中井 海夏人（SC自由が丘西）



一年締めくくりに 稽古会

平成25年稽古納め

平成25年稽古納めが、厳寒の12月23日、三木市民体育館に約120名の参加者を集めて開催された。雑巾がけをして磨きあげた体育館で、高橋会長が挨拶。その後、前半小・中学生、続いて高校・一般が気合十分の稽古を行い、参加者の息と熱気が白い水蒸気になって体育館中に満ちあふれ、約2時間、年納めの稽古は終了した。



祝 八段昇段

伊藤明裕先生

見事難関を突破

平成25年11月28日日本武道館で行われた八段審査会で自由が丘少年剣道教室の指導者でもある伊藤明裕先生が合格率1%という難関を見事突破し合格された。先生は警察で剣道の指導をしているいわば専門職であり、いつかは合格されるだろうと思っていたが今回で12回目6年かかった審査「厳しいプレッシャーとの戦いだった。」と振り返られる。

一口で今回の合格の要因について言えないが、数多くの先生に指導を頂いた中で特に影響を受けたのは近畿管区学校赴任の時、同じ職場の大阪府警大堀透先生、船津晋治先生に基本をしっかりと指導して頂き、試合に勝つ剣道からがらりと剣道そのものの考え方が変わったことや、最近ことで審査2ヶ月前頃より、打突部位と自分の竹刀を結ぶ線のイメージが出来る様になり、その線上を通り竹刀が出るという感覚をつかんだことが今まではなかったことだ。帰宅後、稽古場を探し三木市の連盟会員の皆さんに相手をして頂きその感覚を忘れない様努めた。

当日、二次審査は9回目。緊張感は

あり、しかも今までと違って見えていなかったものが見え余裕をもって立ち合えたのが良い結果につながったと思う。と、それまで圧力に対していかに肩に力が入りすぎていたかが伺えた。

大きな壁を乗り越えられたのはお世話になった方々、稽古の相手をして頂いた地元連盟会員諸氏に感謝し、これからが剣道人として、指導者として品位、風格が問われる立場になったと謙虚に締めくくられたのは流石である。今後益々ご活躍をお祈りいたします。

(報告 神澤正輝)



防具担いで出稽古(四)

森下哲次

第五回生涯剣道の集いに参加

平成25年10月19日の旅

印南剣道場の阿部春治教士の提唱で、平成24年10月から第一回生涯剣道の集いが始まりました。男子は65歳以上で女子は50歳以上の条件を満たせば参加は自由です。しかし今では剣道界の中心的先生方も参加されて、剣の理法を追求する場を提供して頂いています。毎回20数名が集い、日本剣道形から始まり、剣道の地稽古で午後4時までには終わる研修会です。



居合道の理法

今回は剣の理法が凝縮されている全剣連の「居合道」12本を披露して頂い

た後、抜き合わせ、納めの作法を、福原康晴師範から繊細に解説して頂き、小藪ご夫婦と蛭子稔氏が実演してくれました。



鏢(つば)を中心とした操法、指関節の使い方、剣先や刃筋の付けと方向、左右足の役割、納刀の折りに鞘を鏢に寄せる意味合いなど、剣を握るための心構えや理法を知らなかった自分が恥ずかしく思いました。

剣道における「攻め」や「打切り」、「一つ太刀」の修正に大変役立ちます。今回の第一の収穫です。

日本剣道形研修

11時過ぎから剣道形の研修時間に入りました。

「お互いに教えながら」との指示には、先生方への遠慮で誰も注意をしま

せん。早めに切り上げて地稽古に入り、午前の部は12時半に終わりました。

午後の稽古は、再度、剣道形の研修と、阿部春治先生から動作の意味合いなどを解説して頂きました。

高段者でも理解の仕方が千差万別で、改めて一から修練のやり直しを決意しました。第二の課題です。

地稽古

今回は13名の先生に稽古をお願いできました。高砂市の強い剣道に興味を持っていました。

濱中洋先生も参加されていましてので、稽古をさせて頂きました。相手を読む氣勢と正しい姿勢や操法に完敗でした。第三の収穫です。

西川正行先生の強さもすごい。気後れがして稽古をお願いしなかったことを後で後悔しました。

昼からの地稽古で、蛭子稔先生そして阿部春治先生にお願いした後、「天野先生と稽古しては？」と目の前で紹介され、退くに引けない状態となりま

した。社会体育指導会でも再三見せて頂いています「天野宏教士の二刀流」です。対処の仕方も解らないし、天野先生が打たれたところを見たこともない私です。案の定、初太刀で剣先を子太刀で抑えられ、しっかりと面を打ち取られました。気を取り直し、小太刀を意識の後ろに残して、太刀と先生の

氣勢を中心に「読み」を試してみました。

返し胴が決まり、小太刀を抜き太刀が動く前に面を打てました。



打たせて頂いたのでしょうか、ゼンマイ仕掛けのように体が動いてしまいました。「針の穴」位の部位でも、観見に頼れば体は動くものだと悟りました。いい経験させて頂きました第四の収穫です。怖がり避けていた二刀流との稽古も観見を磨く術には素晴らしいことだと感じました。

汗は止めども流れ、いくら打たれても気持ちは清々しく、楽しい時間が過ぎました。

竹刀の叩き合ひではなく、剣の理法を正確に判定する時が来たことを感じました。夕方から夜の談笑も用意されていますが、これ以上ご家族に迷惑が掛けられないと、4時過ぎには、帰路につきました。

スポーツ功労賞 藤田均、小林統一 両氏に贈呈される



写真右 藤田 均先生
写真左 小林統一先生

平成26年2月22日、三木市教育センターにて、平成25年に活躍したスポーツ選手賞と、長年にわたり各々の功労賞が授与されました。三木市剣道連盟からは、小林統一先生と藤田均先生が功労賞を授与されました。

両先生とも子供たちと剣道を始めて三十数年の歳月が過ぎ、昭和50年(1975)に制定された「剣道の理念」以降の理法にもとづく指導を心がけてこられた素晴らしい先生方です。これからも後進の指導に、又ご自身の健康のためにも長く剣道を続けて頂くことを期待しています。

会員の方々からもそのご苦勞に感謝の言葉と賛辞をお伝えください。

月々の便り 丹野骨平

謹賀新年

年新たなり 尉と姥

晴着は着れど心気は褻け

年酒に酔ひて他愛なし

年酒に酔ひて他愛なし

年新たなり 尉と姥

親戚(を)去りにし三が日

年新たなり 尉と姥年

医師予約の目を記す

年新たなり 尉と姥

方丈で点る福茶かな

バレンタイン月

霧に浮かんだ 聖者像

黙って差し出す チョコレート

霧に浮かんだ 聖者像

大聖堂の鐘の音

霧に浮かんだ 聖者像

七又の星影 四馬路の灯

霧に浮かんだ 聖者像

来ますようにと 淡夢

霧に浮かんだ 聖者像

船の灯りよガス灯よ